4 医療機関の適正利用の促進

地域医療提供体制に関する市民の理解を深めるとともに,医療機関の機能分化や救急医療 の適正受診が促進されるよう普及啓発を実施する。

また、医療に関する患者、家族等の苦情、相談等に迅速に対応し、医療機関への情報提供 等を実施する体制を確保するため、医療相談窓口を設置する。

(1) 医療相談窓口の設置(平成17年度開始 平成24年度予算:2,350千円 市単独)

【事業の目的・内容】

医療相談窓口を設置して、医療に関する患者、家族等からの相談や苦情に迅速に対応し、 医療機関にこれらの情報を提供することで、医療の安全と信頼を高めるとともに、より良い医療サービスの提供に寄与する。

	根	拠	法	令	等		主管課・グループ
医療法, 医療安全支援センター運営要領について (平成 19						総務課地域医療グループ	
年医政発第 0330036 号)							秘密珠地域医療グループ

《実績》

相談受付件数 (件)

年 度	H 1 8	H 1 9	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3
苦情	7 0	6 7	7 9	93	8 0	5 5
相談	3 5 7	3 5 1	469	5 1 6	5 1 8	4 6 5
合 計	4 2 7	4 1 8	5 4 8	6 0 9	5 9 8	5 2 0

(2) 救急医療適正受診の促進(昭和63年度開始 平成24年度予算:820千円 市単独)

【事業の目的・内容】

救急医療に対する市民の理解と協力を確保するため、市民への救急医療の適正受診に関する普及啓発を行うとともに、その他の適正受診促進策を検討、実施する。

札	艮 拠	法	令	等	主管課・グループ
救急の日及び救急医療週間実施要綱					総務課地域医療グループ

《実績》

① 救急の日記念講演会

年度	テーマ	参加者数
H18	「急に心臓が止まったら」 講師:獨協医科大学 救命救急センター長 﨑尾秀彰 氏	150 人
H19	「家族が病気やけがで一刻を争う事態になったら」 講師:済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター所長 小林健二 氏	100 人
H20	「市民に学んでもらいたい応急処置」 講師:自治医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 鈴川正之 氏	150 人

年度	テーマ	参加者数		
	救急医療を守り育てるシンポジウム 開催日時:平成21年9月20日(日) 午後1時~午後4時45分 会 場:宇都宮市東コミュニティセンター ホール 実施内容:	170 人		
	第1部 基調講演、AEDの実演 テーマ「こんな時は、救急車を呼ぼう」 講師:獨協医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 小野一之 氏 第2部 パネルディスカッション テーマ「上手に使おう救急医療」			
H21	第2部 パネルディスカッション テーマ「上手に使おう救急医療」			
	中村 勤 氏(宇都宮市保健福祉部次長兼保健所長) 鈴木 誠一 氏(宇都宮市消防本部救命救急士) 小林 健二 氏(済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急			
	センター長) 増田 典弘 氏(独立行政法人国立病院機構宇都宮病院診療部長) 菊池 進一 氏(宇都宮市医師会副会長) 大野 英雄 氏(NPO法人地域医療を育てる会理事)			
	その他 一次救命処置に関するパネルを展示			
H22	救急フェスタ ~どうしよう!子どもの急な病気やけが~ 開催日時:平成22年9月5日(日) 午後1時~午後4時30分 会 場:とちぎ健康の森 実施内容:○「救急医療の標語」入賞作品表彰式(応募総数262点) ・宇都宮市長賞 「みんなの命を救うのは あなたのモラルと救急医療」 ・宇都宮市医師会長賞 「ありがとう 夜もねむらず 救急医りょう」 ○「小児救急に関する講演会」 ・テーマ:「子どもの病気 あわてず対処が基本です」 講師:福田 哲夫 先生(福田こどもクリニック院長) ・テーマ:「小児救急の判断と上手なかかり方」 講師:桃井 真里子 先生(自治医科大学小児科学教授) ○「ママの健康・子育て相談」 ○「救急体験コーナー」	300 人		
H23	救急の日・救急医療週間イベント2011 開催日時:平成23年9月17日(土) 午後1時30分~午後4時30分会 場:宇都宮市保健所 実施内容:○災害時の救急医療に関する講演会 テーマ:「3.11東日本大震災から学ぶ・・・ そのとき、あなたならどうしますか?」 講師:中央消防署 小杉 佳人 消防司令 ○消防音楽隊演奏 ○健康・医療相談コーナー			

② 救急受診の手引き 「市民みんなで支えよう救急医療」

区分	内 容
監修	宇都宮市救急医療対策連絡協議会
掲載内容	子どもから高齢者まで幅広い年齢層に活用してもらえる以下の8項目を掲載 ①救急医療の現状 ②ふだんから心掛けること ③子どもの病気 あわてず対処が基本です ④症状に応じた救急車の利用を! ⑤お年寄りによくある事故とその対処法 ⑥救急医療の仕組み ⑦応急手当の仕方 ⑧AED設置施設マップ

※A4判21頁で20万部作成し平成22年3月に各家庭に全戸配布, 市ホームページへの掲載

③ 救急出前講座

- ・講座名称 ア「症状に応じた上手な救急医療の利用を!」
 - イ「子どもの病気あわてず対処が基本です!」
- ・内容 ア 救急医療の現状と、症状に応じた救急医療を利用するための正しい知識の 普及啓発
 - イ 救急受診の手引きに基づき、子どもの病気や怪我の症状に応じた対処法を 説明
- · 受講者数 6回 145名

④ 救急探検ツアーの実施

- · 日時 平成23年7月26日(火) 午前8時45分~午前11時40分
- •会場 宇都宮市夜間休日救急診療所,栃木県済生会宇都宮病院,宇都宮市消防本部
- 主催 宇都宮市、宇都宮市救急医療対策連絡協議会
- •協力機関 社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院 財団法人宇都宮市医療保健事業団
- ・実施内容 ア 宇都宮市夜間休日救急診療所 概要説明,施設内見学
 - イ 栃木県済生会宇都宮病院 概要説明、救命救急センター及びヘリポート現場見学
 - ウ 宇都宮市消防本部

概要説明,通信指令室見学,起震車・ハシゴ車乗車体験

- ・参加者 市内在住の小学3~6年生とその保護者等 25名
- ⑤ 広報うつのみや9月号 救急医療特集